



PTA 教育講演会

11月3日(金)、文化週間の初日に PTA 教育講演会が開催され、長野県警山岳遭難救助隊でトレイルランナーの秋山穂乃果様から「好きなことに没頭できる時間を」という演題でお話を伺いました。たくさんのエピソードや熱い思い等を聞かせていただきましたが、特に私の印象に残ったのは以下の事柄です。

- ①報道機関にいったん就職したが、転職して長野県警に入った。
- ②警察は厳しい世界であり、好きなことをするのも壁がある。そんな生活に挫折することもあるが、耐えることが大切である。
- ③毎日、死を覚悟して生活しなくてはいけない危険な仕事であるが、やりがいがある。
- ④トレイルランニングのトレーニングでは雪道でも走るし、夏場は、水たまりの水を飲みながら走る。
- ⑤朝起きてまずトレーニングに励み、仕事が終わった夜もトレーニングに励んでいる。常にトレーニングのことを考えている。

講演後、生徒から多数の質問が寄せられ、生徒にとって心に残る素晴らしい講演会になりました。ご参加いただいた保護者の皆様、たいへんお疲れ様でした。ありがとうございました。



但馬中学校駅伝競走大会

11月7日(火)豊岡市日高町の奥神鍋周辺道路を使って但馬中学校駅伝競走大会が開催されました。八鹿青溪中学校からも男女各1チームが出場し、秋の神鍋路を颯爽と駆け抜けました。その結果、女子チーム(①3.2km②2.1km③2.1km④2.1km⑤3.2km)が第4位となり、兵庫県大会への出場権を得ました。男子チーム(①3.2km②3.2km③3.2km④3.2km⑤3.2km⑥3.2km)は惜しくも第7位という結果でしたが、県大会出場権を争う必死の走りに胸が熱くなりました。大健闘であったと思います。なお、女子チーム5区は区間2位の快走でした。

さて、今回の駅伝競走大会では他にも感動したことがあります。近年ではこの大会への参加を見送る学校が増えている中、全校生徒わずか73名の豊岡市立竹野中学校から男子2チーム(A・B)、女子1チームの計3チームの参加があったことです。控え選手も含めると20名もの竹野中学校の生徒さんがこの大会に参加したとのことで、懸命に襷をつなぐ竹野中学校の各選手に大きな拍手を送りました。いっぽう、養父市立関宮学園の女子チームが事情により4名の選手しか揃えることができませんでしたが、“オープン参加”というかたちで第4区まで襷をつないだことにもたいへん感動しました。たとえ勝敗に関係なくても自分たちの目標に向かって走り抜いたことは賞賛に値します。

このように但馬には頑張っている学校がたくさんあります。八鹿青溪中学校もさらなる飛躍をめざしましょう!



第6回全校集会

11月8日(水)、第6回全校集会を行いました。まずは、各種コンクール・大会等の表彰伝達を行いました。まさに、八鹿青溪中学校“飛躍の秋”と言ってもよい好結果を収めています。

表彰伝達後、下記のような話をさせていただきました。

【芸術・文化部門】

- ・読書感想文コンクール 但馬入選 1名 他佳作5名
- ・県中学校総合文化祭書写部門 特選 1名 他入選2名
- ・令和5年度防火ポスター展 特別賞 1名 他入賞2名

【運動部活動部門】

※校報第18号で掲載した但馬新人戦の表彰伝達を行いました。

(4種目優勝、3種目第3位)

※校報号外で掲載した野球部県大会準優勝の表彰伝達を行いました。

※野球部代表2名に県大会の感想や近畿大会への決意をインタビューしました。



先週の土・日曜日はプロ野球日本シリーズで盛り上がりました。今年は、セントラル・リーグ代表の阪神タイガースとパシフィック・リーグ代表のオリックスバファローズが対戦しましたが、皆さんはどちらを応援しましたか。私は、養父市出身の選手がいるということで、阪神タイガースを応援しました(阪神タイガースのユニフォームを着て、背番号12と SAKAMOTO の文字を生徒に見せる)。彼はお隣の養父中学校の卒業生で、私は3年間を一緒に過ごしました。また、垣尾教頭先生、小林弘章先生、平沼先生、服部先生、福田先生、早崎先生、小林美枝子先生も当時の養父中学校におられましたし、田中先生は同じ野球部員でした。

いろいろな人からよく「(坂本選手は)どんな中学生だったのですか?」と質問を受けることがありますが、いつも「ごく普通の中学生でしたよ。」と答えています。ただ、強く印象に残っているのは、3年間で無遅刻・無欠席・無早退であったこと。勉強にも熱心で、宿題忘れや提出物忘れが全くなかったこと。生徒会副会長であったこと。文化祭の演劇で主役を演じたこと。など野球以外の事柄にもとても熱心であったことです。これからも養父市出身のプロ野球選手として応援していこうと思っています。<以下略>

創造の庭の落ち葉はき

10月後半から11月にかけて、生徒会美化委員会の声かけに応じた多くの生徒が、早朝の落ち葉はきを続けてくれました。おかげで、けやきの木の落ち葉で覆われる創造の庭がたいへん美しく保てましたし、登校後すぐに作業をしている生徒たちを見ると、心がたいへん温かくなりました。

夏場は多くの葉を茂らせていたけやきの木も今はすっかりと落葉し、初冬の趣を感じさせる佇まいになっています。季節のめぐりは早いものです。

